

市長と語ろう！ふれあい懇談会（美並会場） 議事録

開催日時 2018年10月25日（木） 19時30分～21時28分

開催場所 美並さつき苑 研修室

出席者 市長・教育長・市長公室長・総務部長・建設部長・総務課長・秘書広報課長・
美並振興事務所長

来場者数 80人

▼日置市長（あいさつ・市政報告）

初めに市政報告の説明をさせていただき、その後、地域テーマ「高齢者の交通移動手段確保について」、市全体テーマ「防災について」のご意見を承りたい。

平成30年は、1～3月にかけて非常に多くの雪が降り、除雪費用が10億円ほどかかった。そして、6月末から7月には豪雨となった。その後は酷暑が続き、全国的に熱中症の対策等が検討された。

9月には非常に風の強い台風21号が襲来し、強風による倒木のため市内各地で電線が切断され大規模な停電が発生した。当初2、3日とお知らせしていた停電復旧の目安については日々延長され、高齢地域の別荘地においては、市内最長の1週間に及んだ。近年は、生活をする上でほとんどの物が電気を必要としており、風呂を沸かすことにも難渋される人が大変多くみられた。そこで、市営温泉の中でも比較的早くから復旧した「大和のやすらぎ館」、「美並の子宝の湯」等で、停電地域の方については、無料で利用いただけるようにした。また、電線周りの木を伐採するライフライン保全事業（実施期間：H27～H29 経費負担：中電1/2、県・市各1/4）を行ってきたが、これまででは、雪害倒木を想定したものであった。今回は、雪の少ない地域においても、強風による倒木で電線が切断された。そこで、今年度も中部電力と市でライフライン保全事業を継続して行っていく。

平成30年度の美並地域の主要事業としては、温泉設備やフォレストパーク373の修繕、日本まん真ん中センターの舞台音響設備工事等を行っていく。

市の人口については、様々な施策を行っているが、残念ながら年間500人を超える人口が減少しており、人口ピラミッドのグラフについても日本全体のグラフに比べて、岐阜県は若年層のくびれが目立つようになり、郡上市は極端にくびれている。また、平成26年度あたりから、赤ちゃんの数が減ってきてているが、これは、第2次ベビーブームの人が出産年齢から外ってきたことによるものだと考える。

財政については、普通会計の平成28年度から平成29年度にかけての歳入歳出が急に跳ね上がっている。これは、平成28年度から平成29年度にかけて、まん真ん中広場の人工芝生化等の事業を繰り越しながら行ってきたため決算上の歳入歳出が大きくなったものである。

八幡町の郡上市商工会跡地には「郡上市産業プラザ」が完成し各事務所が入居した。また、それらの入居団体の活動を連携し、相談者を支援する組織として「郡上市産業支援センター」が設立され経営、移住等についてワンストップで対応できるようになった。さらに、八幡町中坪の町村会館の跡地には「郡上市歴史資料館」も開館し、貴重な旧町村時代の行政文書等を集め調査研究や整理保存を行っている。

美並地域では、まん真ん中広場の人工芝生化とクラブハウス建設に5億円ほどかかったが、利用者の方により満足して頂ける施設になったと考える。また、この他に高鷲町の呴高原に管理棟を建設した。

郡上市は、2019ラグビーワールドカップ公認合宿地の候補からは外れたが、このたび、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、コロンビア共和国のホストタウンになることが決定した。過日、ユース女子ラグビーチームに来ていただき、美並町、高鷲町のグラウンドを使用し合宿や試合を行っていただいた。

白鳥町の長滝に道の駅があるが、この敷地内に県の事業で「清流長良川あゆパーク」が建設された。今後は、市が指定管理者となり管理を行っていく。また、この建設に併せて市の道の駅もリニューアルを行い、今年の夏は多くの人に来場していただいた。

<市政報告についてご意見・ご質問>

- ・特になし

▼司会 一柳美並振興事務所長（地域テーマ 高齢者の交通移動手段確保について）

美並町の高齢化・人口減に伴い、現状を把握するためにアンケートを行った。平成30年1月現在で75歳以上の人人が対象で、結果は、地域協議会での資料ということで公開していなかったが、今回、抜粋して一部を公開する。<資料について説明>

◆発言者①

美並地域協議会では、運転免許証を返納した場合においても、10年、20年後も病院、買い物に行ける町にするため協議を行っている。今回のアンケートは、美並町内の75歳以上を対象に行った。結果としては、日常生活で困っている事、不安に感じている事は、「自分の健康や認知症の問題」が70%と多く、次に「外出手段の確保について」が16.8%、また、現在の外出方法については「自分で運転する」「家族に乗せて行ってもらう」が80%だった。自分や家族が運転できるうちは良いが、運転ができなくなると病院や買い物に行けなくなってしまう。特に美並町では衣食住に関する店舗がとても少く、自家用車を使用しなくても買い物に行ける方法を考える必要がある。

◆発言者②

美並巡回バス「北ルート」から「美並八幡線」に乗車した。バスは29人乗りで、午前8時に“さつき苑”を出発し、美並町北部をくまなく回り“ばんの内科前”に9時に到着する。この日は“ばんの内科”と“喫茶 文”へ行く人が、8名乗車していた。その後、バスは“さつき苑”に戻り、9時10分に八幡に向けて出発、“市民病院”に9時30分頃に到着した。八幡行バスの乗車は4名で、そのうち3名が市民病院へ行く人だった。この人たちの帰り便は、市民病院を15時10分発、“さつき苑”には15時35分に到着であり、ある人は、「親戚の家で、しばらく休ませてもらってからバスに乗って帰る」と話されていた。なお、美並町北部に住む人が、バスで“さつき苑”まで来て、そこからバスで八幡へ行くことができるは、週に1日（木曜日）のみだ。

そこで、バスに乗って感じたことが2つある。

1つめは、「市民病院へ行くにも1日かかる生活が自分にできるだろうか」。

2つめは、「大きなバスで、地域をくまなく回るが、乗客が少数でもったいない」ということだ。このことは、「南ルート」、「美並美濃線」についても同様で、コミュニティバスを、利便性と効率性から十分に検討し、改善する必要があると感じた。

◆発言者③

コミュニティバスについて2つ話したい。

1つめは、美濃市などが取り組んでいるデマンド型バス・タクシーにすることである。これには、自宅近くから目的地まで行ける便利さがあり、美濃市では大変評判がよいと聞いている。ただし、美並町は地理的に南北に長く町内に商店が少ないため、買い物については北部の住民は八幡へ、南部の住民は美濃市や関市へ行くという実情もある。デマンドは、台数や運転手の問題、業者の問題、それに伴う財政問題など実現は容易ではない。しかし、「予約制」「行き先を病院やスーパーに固定」「本数の制限」など運行方法を具体化し、デマンド的にしていくことを考える必要がある。

2つめは、目的別バスを運行することである。現在は、美並町内を巡回する便が2ルートあり、その他に、八幡町行きと美濃市行きが運行されているが、八幡町行きは病院が終点となっており、そこから小野のAコープや稻成のゲンキーへ高齢者が買い物に行くことは容易ではない。そこで、ハイエースやキャラバン程度の車両で、「月曜日は、稻成のゲンキー・メリから小野のAコープまで運行し3時間程度で美並町へ戻るバス」など設定し、登録制や予約制にすれば、利用しやすくなると考える。これらの方法には、問題点や解決しなければならない課題がある。しかし、大切なのは、最初から「無理」と決めつけず「どうしていくか」アイデアを出し合うことだと考える。

◆発言者④

「郡上市地域公共交通網形成計画」について話を聞く機会があった。特に美並においては「巡回バス」の運行見直しや各交通手段がうまく機能していない状況であること、利用実態に合わせた車両を導入することなど、地域協議会で考えている内容と整合する部分が多くある。計画の中で、利便化と効率化は相反する要素があり「利用者が少ないのでダイヤやバスの大きさを縮小する」という発想ではなく「バスを小型化して台数を増やし、ニーズに応えるようダイヤを考える」という方向に考えていただきたい。「地域公共交通網形成計画」の具体化のため、前向きに考えられるように「それは無理」「それは難しい」ではなく、「こうすれば可能かもしれない」「ここは検討してみよう」など、地域協議会の協議内容に耳を傾けていただくことを願う。

85歳で免許を返納しても困らない社会にならないといけない。先ほどの人口ピラミッドを見ても、もう少しで多くの人が85歳となる。免許証返納者の70%以上は、公共交通機関を利用したいと考えており、このままでは免許返納後に、都会へ移住してしまうのではないかと考える。

◆発言者⑤

巡回バスを考えるには「小さな拠点づくり」と並行させて考えていく必要がある。美並地域は、八幡町や美濃市・関市などの市街地で勤務したり、消費したりする人が多い傾向にあるが、美並町内でも、ある程度消費活動ができるよう取り組む必要があると感じる。現在は、「高齢者が家で一生懸命作

った野菜が余り、多くを捨てなければならない。一方で、ある高齢者は八幡町へ野菜を買いに行きたが、足がなくて行けない。」こんな状況が想定される。例えば、作った野菜が、美並振興事務所の敷地で、NPO法人などにより、値打ちに販売されるような状況ができないかと考える。そうなれば、銀行や病院も近くにあるため重点的にバスを運行させることも検討できる。また、野菜作りにも“生きがい”ができたり、高齢者が集うことでコミュニケーションが広がり活気にもつながる。

「そんなことできるのだろうか」「誰が、何をしたらできるのだろう」と考えがちだが、まずは、美並の今後をどうしたいのか皆で考えていくことが大切だと考える。そのようなことが地域ができるよう市政の取り組みや支援をお願いする。

◆発言者⑥

美並は、生活必需品を購入できる店が少なく、50%以上が美濃市で買い物をしており、郡上市にとってももったいないことである。そこで、地域内の循環も考え、さらなる交通網の整備が必要だと感じる。現状でも、高齢者のみの世帯は、車が無いと生活が非常に困難となり、運転できない高齢者が、近所の人々に買い物や病院に乗せて行ってもらう事が多いと聞いている。しかし、10年、20年後には高齢化がさらに進み、そのような事も難しくなるため、高齢者が自動車運転免許証を自主返納することは非常に難しいと考える。郡上市では、自動車運転免許証の自主返納者に対する支援策として、長良川鉄道の運賃の半額割引をしているが、駅までが遠くて、長良川鉄道を利用することが非常に困難な人が多い。そこで、高齢者が歩くことができる距離も考えながら、巡回バスの運行ルートなどを見直す必要があると感じる。

◆発言者⑦

先ほどのデマンド型タクシーの話がでていたが、郡上地域公共交通会議の中で、コミュニティバスをタクシー業者が運営し、デマンド型バス・タクシーにできないかと意見があった。また、運営方法については、NPO法人などによる自家用有償旅客運送も検討するべきだと考える。1つは「過疎地有償運送」であり、これは利用できる人の範囲も広くて良いが、運送を行えるのは交通空白地であることが条件にある。しかし、美並町は長良川鉄道や美並巡回バスなどが利用できるため、交通空白地には該当しないと聞いている。そこで、利用者が「要支援者、要介護者」などに限られるが、もう一方の「福祉有償運送」での運行を検討するべきだと考える。すでに明宝では「福祉有償運行」が行われているそうだが、美並町でも可能なのか見通しを教えていただきたい。

◆発言者⑧

先ほど、バスの小型化や目的別バスの運行についての意見があったが、それに関連することで郡上市社会福祉協議会が行っている事業を紹介したい。

郡上市社会福祉協議会では、車いすを利用されている人が、買い物や通院、行事や行楽に積極的に参加する機会を確保できるように、車いすのまま乗り降りができる福祉車両の貸し出しを行っている。昨年は、市内で199件、美並地域では2件の貸し出しを行った。その他にも、福祉団体などが行事や研修に参加する際の後方支援として、郡上市内にある福祉関係団体へ10人乗りハイエースの貸し出しを行っている。福祉関係団体とは、地域で活動を行うボランティア団体やサロングループ、シニ

アクラブや身体障害者福祉協会、母子寡婦福祉連合会や地区社会福祉協議会などで、ボランティア活動や、研修会の参加等に利用されている。車いすのまま乗り降りできる福祉車両、10人乗りハイエースのどちらも費用は無料だが、利用された分の燃料代のみ負担いただいている。また、運転手は利用される団体で手配をお願いしている。

郡上市社会福祉協議会では、このような事業を行っており、気軽に問い合わせていただきたい。

▼市長

郡上市では、郡上市地域公共交通網形成計画を作成しているが、本日ご提言いただいた内容を検討したい。美並巡回バスは29人乗りであり、運行開始（平成24年）時に乗客の最大数を想定して購入したが、現在は一度にそれほど多くの人が乗車することではなく、車両を小型化してもよいのではと意見があった。また、美並巡回バスは、美並町北部・南部を巡回し、美濃市、八幡町と広大なエリアを走行しており、現状の車両1台での運用では便数も少なくなってしまう。そこで、初期投資はかかるが、車両のサイズを小型化し台数を2台にする検討も必要だが、運転手も2名必要となるなど経費や人材確保に課題があると考える。

平成29年度の美並巡回バスの年間の運行経費は370万円であるが、バス利用料金が美並町内巡回コースは100円、町外（八幡町・美濃市）コースも最大500円で運行していることもあり、年間運行収入は42万円である。また、広いエリアを1台で運行するため便数は少なくなり、それが利用しづらさにつながり乗客数も伸びないといった連鎖についても解決しなければならないと考える。

美濃市で運用しているデマンドバスやデマンドタクシーについては、利用料金や運転手確保の問題などあると考える。そして、NPO法人を立ち上げて自家用有償旅客運送を行う件については、公共交通空白地有償運送での運行は利用者の限定は少ないが、市営で行っている自主運行バスとの同時運行ができない。しかし、福祉有償運行は自主運行バスとの同時運行が可能であり、利用者は限定されるが検討できると考える。明宝で運用されているバスも、介護や身体障がい者の認定を受け、事前登録している人のみが利用できる福祉有償バスである。同様の運行を検討する上では、NPO法人の母体を作り運転手を確保したうえで長続きする体制を作ることが大切だと考える。利用者が限定されても、そのような形で運用したいということであれば道は開けると考える。

美並町内でも、野菜など購入できる場所が必要という意見については、場所があり携わる人がいれば美並振興事務所の空いた場所などを利用し、日用品の売り買いができる機能を持たせることも考えられる。また、明宝では「道の駅 明宝」を高齢者の福祉拠点として利用できるように考えており、美並町においても、ある程度の買い物は地元ができるような取り組みは必要だと考える。

▼総務部長　(防災について資料にもとづき説明)

▼市長

グラフで水位を見ていただきましたが、今回、郡上市で累積雨量が1,000mmを超える地点があるが、雨が降ったり止んだりを繰り返したことが幸いし、美並でも過去の様な災害に至らなかつたと思われる。また、上流の阿多岐ダムの効果や、大矢などでの河川改良工事も効果があったと思われる。

◆発言者⑨

危険水位について、例えば深戸の土地の低いところは、長良川の「この場所」まで水が到達すると危ないなど、具体的な目安がわかる資料はないか。

▼市長

橋の橋脚などで水位を図り、過去の経験によって警戒水位が決められているが、例えば、上流域の「ある地点」に水位が達したら下流域のこの地域が危険になるというものか。

◆発言者⑩

例えば、名古屋市などが示しているような、潮位の上昇によってこの地域が水没するとわかるマップのようなものである。

▼市長

土木事務所では想定浸水域を計算した地図を作成している。現在は、100年に一度の大雨を想定して作成されているが、今度の更新では1,000年に一度の大雨を想定して作成される。

▼建設総務課長

長良川の想定浸水域はハザードマップに掲載してあるが、100年に一度の確率で作られている。今後は1,000年単位のものが作成されるが、この基準では郡上市内の長良川沿い地域は、ほぼ水没する形になってしまふ。今回の見直しは、局地的に降る大雨などの想定外があり得ることも考慮したもので、目安として使用するものと考える。河川水位は、土木事務所である程度ポイントごとに数字を細かく把握しており、地域を教えていただければ示すことができる。

◆発言者⑪

公共交通について、美並町には長良川鉄道や巡回バスがある。しかし、利用する上で不便なことがあると聞いている。そこで、提案したいことは、旧美並カントリークラブにはゴルフカートが残っていると思われ、これをを利用して高齢者がバス停や鉄道の駅まで行けるようにできないかというものである。ゴルフカートの公道使用を可能にするなど、課題はあると思うが、運転は非常に簡単で、バッテリー駆動のため公害問題もない。運営は各地区が行い、高齢者が好きな時間に移動ができればよいと考える。また同じような運用は、石川県輪島市で実際に活用されている。

次に、教育長さんにお聞きしたい。民生委員児童委員を20年つとめているが、最近、子どもたちの勉強道具が非常に多く、通学など小学校1,2年生ぐらいの生徒にはかなり負担になっている。郡上市ではどのように考えているか。

▼教育長

教科書が重く小学校低学年に負担ではないかと言う意見は、校長会でも問題になっている。郡上市では、比較的教室のスペースに余裕があるので、現在は家に持つて帰る必要がない場合は置いていくように改善している。

▼市長

ゴルフ場のカートの有効利用については貴重な提言であり検討したい。

<その他ご意見・ご質問>

- ・特になし

▼教育長（閉会挨拶）

本日、東京大学大学院の片田教授の講演を聞いた。この方は、東日本大震災の時に釜石の奇跡を指導されたことでよく知られている。講演の中で3つ印象に残ったことがありお伝えする。

1つ目は、近年は台風や大雨など異常気象に目がいきがちだが、地震、火山にも目を向けるべきだと言われていた。

2つ目は、釜石で一番力になったのは、子どもたちが、「てんでばらばら」に逃げた事であり、子どもたちに教えていたことは、長く揺れたら揺れた分だけ遠くへ逃げろと言うことであった。東日本大震災では、大人が止める間もなく中学生が小学生をともなって逃げていき、大人がその後についていくような形になった。防災については、今までのデータを超えるような事態に対処できる方法を教えることが大事だという話だった。

3つ目は、ハザードマップが各地で作られており、実際に広島などの被災地でも警戒されていた場所で土砂崩れが起きた。しかし、避難行動などに活用できていない実態があるため、ぜひ活用して頂きたいとのことだった。

閉会 21：28